

防災だより 第15号

吹田市
危機管理室
令和7年12月

避難施設解錠システムの運用を開始 2025/7/1



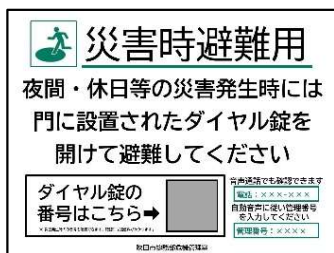
令和7年7月1日(火)から避難施設解錠システムの運用を開始しました。

避難施設解錠システムは、避難者の安全な避難の実現及び災害時における避難施設の保全のため、施設管理者等が不在の休日・夜間に災害が発生した場合でも、災害発生時に限って避難者自らが避難施設を解錠することができるシステムです。

現在、吹田市内の小中学校をはじめとする、一部の指定緊急避難場所で導入されています。

【解錠方法】

- ①スマートフォン等で門扉等に設置されているQRコードを読み取る。
- ②読み取ったスマートフォン等に暗証番号が表示される。
- ③表示された暗証番号を使って、門扉のダイヤル錠(もしくはキーボックス)を解錠する。



令和7年6月28日(土)、避難施設解錠システムの運用テストを地域の皆様とともに行いました。

実際にQRコードを読み取り、門扉の解錠を行った後、各小学校に配備している避難所開設セットの確認を行いました。

自主防災組織活動発表会を開催！ 2025/9/27



令和7年9月27日(土)に自主防災組織活動発表会を開催しました。自主防災組織や吹田市地域防災リーダーの皆様が合計67名御参加いただき、6組織から防災活動の発表がありました。

それぞれ異なる活動がされており、様々な防災活動を知る場になりました。参加者からは「発表にあった活動を自分でも取り入れたい」「他組織とつながりたい」等の感想をいただきました。

【発表組織・発表内容】

- ①山田西第3次住宅 防災・コミュニティクラブ
地域の防災力の向上と地域コミュニティの醸成を一体とした取り組み
- ②千三地区地域活動協議会防災委員会
千三地区の紹介と2022年度防災訓練の取り組み
- ③山二地区防災対策委員会 **スマイル防災賞**
～地区の備えから、みんなの備えへ。つながり合う地域の防災力UPを目指して～
- ④吹田市地域自立支援協議会 当事者会
障がい者児のための防災ハンドブックについて
- ⑤南山田地区防災対策委員会 **未来につなぐ賞**
南山田地区アクションカードの作成と今後の運用について
- ⑥東山田地区自主防災対策委員会
地域情報の共有と災害時要援護者支援の取り組み



- ・令和6年から実施し、2回目の自主防災組織発表会の開催となりました！
- ・2つの賞を設け、特に参考にしたと思う事例への参加者の投票を行い、表彰させていただきました。
- ・2月中旬には、地域防災リーダー育成講習を実施予定です。

全庁一斉災害対策訓練-全庁有事モードの実践-を実施！2025/8/30

オペレーションルームでの情報収集・分析



各部との連携のもと情報収集を行い、災害対策本部資料を作成しています。

リエゾンルームでの応援機関の執務



令和7年8月30日(土)に、吹田市全庁一斉災害対策訓練～全庁有事モードの実践～を実施しました。

本訓練は、災害時に生じる状況を各部がイメージし対策の立案・体制の確保を図るため、市役所全体で実施する訓練です。

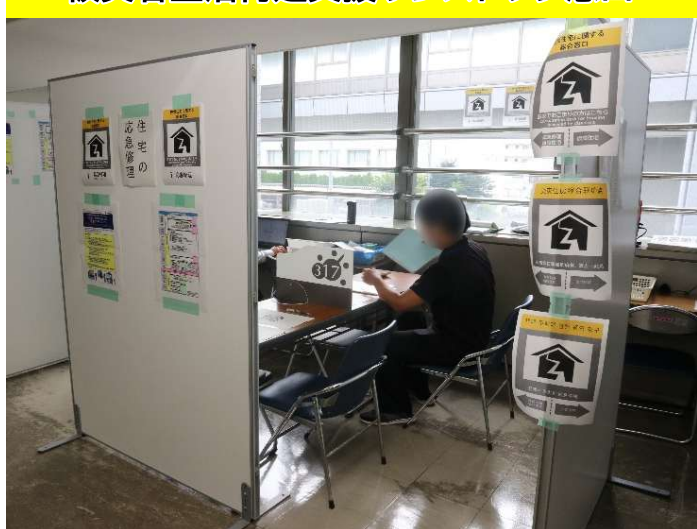
訓練1か月前から取り組む事前訓練では、各部で与えられた状況・課題に対する検討・調整を行いました。そして、事前訓練で検討した内容をもとに、訓練当日、災害対策本部の運営、本部との情報連携、庁内外でのレイアウト展開等を実施しました。

市職員約1000名が本訓練に従事し、災害対策本部では、職員だけではなく他自治体職員・警察・自衛隊等が当日訓練に参加し、発災時の受援を前提とした連携体制の確認を行いました。

訓練当日には、学識者・行政関係者・企業関係者等多くの方に訓練の様子をご見学いただきました。

本訓練での課題等に対して、改善を図りながら、今後も全庁的な災害対応力の向上に努めてまいります。

被災者生活再建支援ワンストップ窓口



災害対策本部会議



災害対策本部班が作成した資料をもとに災害対策本部会議を実施しました。

本部と連携した物資配送訓練



本市物資班が、本部との連携のもと、防災関係機関である自衛隊とともに物資配送訓練を行いました。

ボランティアセンター開設の様子





令和7年9月5日(金)に、帰宅困難者体験訓練を実行委員会主導のもと、豊中市とともに実施しました。

帰宅困難者とは、地震などの災害によって公共交通機関が停止し、**外出先から自宅へ戻ることが難しくなった人々**のことを指します。今回の訓練では、災害時に迫られる行動の選択肢を実際に体験することで、防災について考えるきっかけとしていただくことを目的としています。

当日は台風の影響で天候が心配されるなか、約580名の方に御参加いただき、災害時を想定した訓練ルートを歩きました。毎年参加されている方や、例年の開催をご存じの方も多く、帰宅困難者体験訓練の目的である「災害時にどのような課題が生じるのか」「どのように移動できるのか」「自宅までどの程度時間がかかるのか」を多くの方に知っていただけていることを実感しています。

今年は、新たなポイント・ルートを取り入れ、より実践的な訓練となりました。今後も、災害への備えを市民の皆さまと一緒に進めてまいります。

トライアル！（吹田市地域防災総合訓練）を実施！ 2025/10/25

令和7年10月25日(金)に、トライアル！（トライ×やる）すいたの防災2025-挑戦と実践-（吹田市地域防災総合訓練）を実施しました。

今年度は、過去最多となる65機関に参加・ご協力いただき、例年実施しているマンション防災エリア、防災運動会に加えて、新企画として「**防災ワークショップ**」を行いました。「防災ワークショップ」では、自衛隊・消防によるロープワークや、市職員による牛乳パック灯ろうづくり体験など、災害時にも役立つ知識を学べるプログラムを実施しました。

当日は、老若男女合わせて約**5000名**の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。災害はいつ起こるかわかりません。今回のイベントをきっかけに、まずは防災への備えを再確認し、身の回りの防災対策を始めてみてください。

また、当日の実動訓練及び防災運動会の様子はYouTubeでも見ることができますので、是非御覧ください。



一斉合同防災訓練は、**1月18日(日) 9時30分**から開始します。ぜひ、事前訓練・当日訓練のご参加をお願いいたします。



←
詳しくは
市ホームページまで